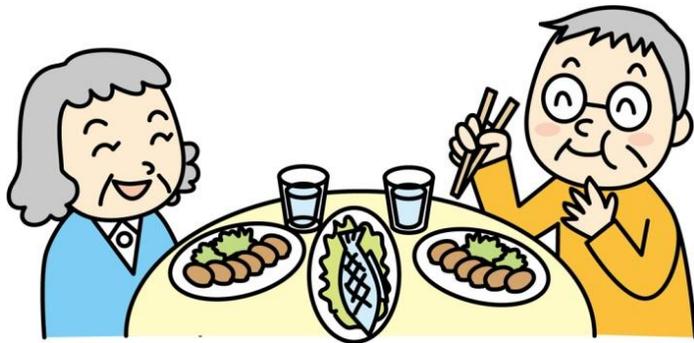


口は健康のもと Vol.211

根面う蝕の対処法 定期検診が大切

前回、根面う蝕が高齢者に多く、抜歯に至るリスクが高いことをお話ししました。根面う蝕はここ数年特に問題視されていることから現代病的な虫歯と思われがちですが、実はこの虫歯はかなり以前から存在が確認されています。江戸時代に示された文献から、当時においても多くの高齢の方に根面う蝕がみられ、当時から人々を悩ませていたようです。根面う蝕は進行が速く、抜歯に至る可能性を有している危険な虫歯ではありますが、実のところ決して難治性の虫歯ではありません。それどころか根面う蝕に陥った歯の部分は溶けやすい反面、正しい方法でしっかり歯の清掃を行うと、再石灰化といって再び歯が硬くなっていくことがわかっています。つまり、虫歯の状態から正常な状態に敗者復活が出来る可能性があるのです。当然、大きく穴のあいた虫歯は人工的な詰め物で塞がなければなりません。それほど大きく穴があいていない状態の虫歯では歯を削ったりすることなく虫歯を治せる可能性があるのです。そのためにはただ漫然に歯磨きをしているだけでは難しく、やはり定期的に歯科医院に通院して、口の中を清掃してもらうとともに正しい清掃法の指導を受けることが大切なのです。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 教授 山田 嘉重

